

平成26年 4月 11日

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2014年4月30日】

団体名 公益財団法人 生長の家社会事業団

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

子育て広場の継続とトワイライトステイ事業の新設

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

少子化、核家族化が進み、子育てに不安を抱える世帯が増えていることがあげられる。

当施設で平成23年10月より開始した。子どもショートステイ事業では、子供達のケアを中心に支援してきました。事業を通して、国立市内においての育児相談、栄養相談、心理相談など子供を取り巻く親(母親、父親)の支援も必要と感じ、子育て広場の開設を計画し、市内の子育て世代のニーズに応えたい。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

保護者が仕事や介護、冠婚葬祭などで夕方17時～22時までの間で、一時的に養育困難な場合において、お子さんを預かるサービス。保育園、幼稚園、小学校等に施設職員がお迎えに行き、子育て広場内で学習、遊び、夕食の提供、入浴介助、就寝等の養育を行う。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

ショートステイ事業と一緒に、面談時には広場の案内をしつつ、子どもの養育に関しての相談に応えられるようにしている。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

全体的に広報が足りなかったと思います。

利用しやすいようにポスター作製や、関係機関との調整が必要になってくる。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり **特になし**